

# 第63期 中間報告書

平成20年12月1日～平成21年5月31日



**マルカキカイ** 株式会社



# 全社一丸となって、安定した事業の拡大と高い収益性を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当中間期（平成20年12月1日から平成21年5月31日）における我が国経済は、昨年9月のリーマンブラザーズの破綻を契機として世界の金融と経済が深刻化したことにより輸出や生産が大幅に減少しました。高騰していた原油価格が低下したものの、厳しい収益環境を背景に製造業の設備投資の落ち込みは、バブル崩壊時を上回りました。米国では、住宅市場の

低迷が続いたほか、設備投資が過去最大の落ち込みを記録しました。また、アジアにおきましても、総じて大幅な景気の減速を余儀なくされました。

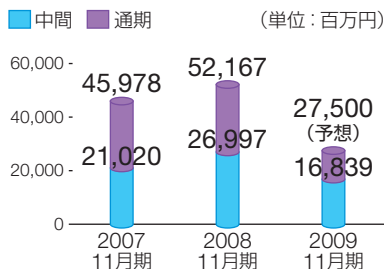
このような状況のなか、当社グループは提案営業による設備更新需要の掘り起こしや環境、省エネ、合理化商品の発掘と拡販、経費の削減を推進してまいりました。その結果、当中間期の売上高（連結）は16,839百万円、営業利益は355百万円、経常利益は498百万円、中間純利益は229百万円となりました。

中間配当金につきましては、7月3日開催の取締役会において、1株につき10円に決定させていただき

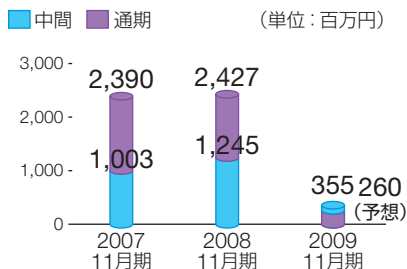
## 財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

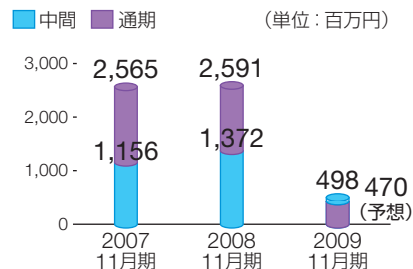
### 売上高(連結)



### 営業利益(連結)



### 経常利益(連結)



ました。

世界経済の先行きは不透明で、今後も当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しいことが予想されます。これらの対応策として、海外拠点におけるサービス体制の整備によるサービス機能の強化などを引き続き実行するとともに、環境関連、省エネ、合理化といった新たなシステムをユーザーにご提案する営業を、メーカーの協力を得ながら積極的に展開してまいります。需要が減少するこの時期にこそ、全社一丸となって機能強化と質的向上に向け取り組み、安定した事業の拡大と高い収益性を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



取締役会長

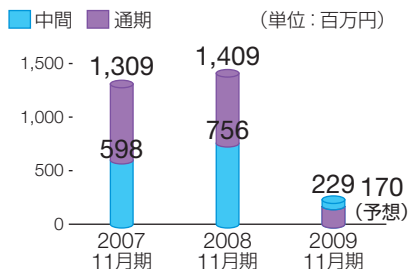
乾 孝義



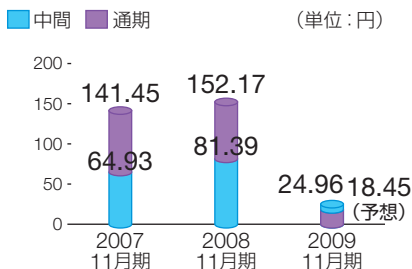
取締役社長

釜江 信次

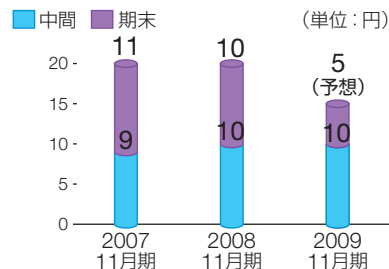
### 中間(当期)純利益(連結)



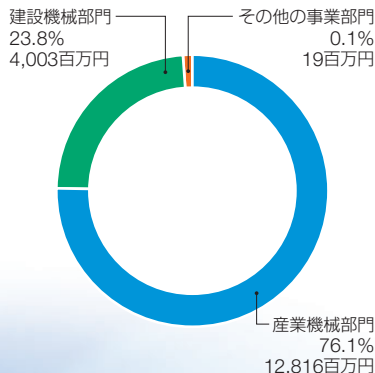
### 1株当たり中間(当期)純利益(連結)



### 1株当たり配当実績および予想



### 売上高構成比(連結)



### 産業機械部門

日本では、工作機械の受注額が12ヶ月連続で前年割れとなるなど、景気の急速な悪化を受けて自動車関連業界を中心として新規の引合が急速に落ち込み、設備投資の下げ止まりが見えない状況であります。米国では工場の稼働休止や新規設備投資の凍結、与信不安等から、販売台数が減少し在庫が増加しました。アジアでは輸出の減少からその他の地域と同様に設備投資が抑制されました。

こうした結果、当部門の売上高は12,816百万円、営業利益は622百万円となりました。



マシニングセンタ

### 建設機械部門

当期の重点攻略先であるチャーター業界向け販売が伸びましたが、急速な世界経済の悪化に伴い中古建設機械の輸出が激減しました。レンタルにおいては、企業が設備投資を抑制して新規着工が減少したことから業界の受注競争が激化し、レンタル料金の上落が続きました。

こうした結果、当部門の売上高は4,003百万円、営業利益は181百万円となりました。



クローラークレーン

### その他の事業部門

当事業は、保険の代理店業と環境事業の業績を示しております。当部門の売上高は19百万円、営業利益は3百万円となりました。

# TOPICS

## インドネシアの部品メーカー、パミンド社と提携しました。

当社および当社連結子会社マルカ・タイ社は、インドネシアのパミンド社(PT.PAMINDO TIGA T社)の実施する第三者割当増資を引き受けることになりました。

これにより、パミンド社の約10%の株式を保有することになります。

当社とパミンド社とは同社の設立(1975年)当時の取引であり、長年にわたり人的にも信頼関係を築いてまいりました。

パミンド社は日本の自動車メーカーに対し、自動車・自動二輪車の部品を生産供給しており、今回の提携により、当社も同社製品の東南アジア、日本への販売拡大を見込んでおります。

### パミンド社の概要

- ①会社名 PT.PAMINDO TIGA T
- ②代表者 Achmad Hendra Kowara
- ③本社所在地 インドネシア ジャカルタ
- ④資本金の額 US\$3,490,000
- ⑤主な事業内容 自動車、自動二輪車用部品の製造販売。  
繊維機械の保守、メンテナンス。
- ⑥売上高 3,210億ルピア  
(2008年12月期) (約32百万ドル)



6月11日の調印式でのパミンド社・社長はじめコワラグループ役員と当社・乾会長、竹下常務

# 連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

## 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	前期末	当中間期
	平成20年11月30日 現在	平成21年5月31日 現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	24,602	18,244
固定資産	6,195	6,099
有形固定資産	3,901	3,868
無形固定資産	87	79
投資その他の資産	2,206	2,152
繰延資産	7	5
資産合計	30,805	24,349
<b>負債の部</b>		
流動負債	17,584	11,225
固定負債	641	622
負債合計	18,226	11,848
<b>純資産の部</b>		
株主資本	12,052	12,190
資本金	1,414	1,414
資本剰余金	1,300	1,300
利益剰余金	9,442	9,580
自己株式	△ 104	△ 104
評価・換算差額等	160	△ 12
その他有価証券評価差額金	28	84
土地再評価差額金	269	269
為替換算調整勘定	△ 138	△ 367
少数株主持分	366	323
純資産合計	12,579	12,501
負債純資産合計	30,805	24,349

## 中間連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期
	自平成19年12月1日 至平成20年5月31日	自平成20年12月1日 至平成21年5月31日
売上高	26,997	16,839
売上原価	23,600	14,674
売上総利益	3,396	2,164
延払条件付譲渡益戻入額	28	32
延払条件付譲渡益繰延額	41	35
差引売上総利益	3,383	2,160
販売費及び一般管理費	2,137	1,804
営業利益	1,245	355
営業外収益	159	213
営業外費用	32	69
経常利益	1,372	498
特別利益	14	0
特別損失	0	37
税金等調整前四半期(中間)純利益	1,386	461
法人税、住民税及び事業税	598	266
法人税等調整額	—	△ 41
少数株主利益	31	7
四半期(中間)純利益	756	229

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期
	自平成19年12月1日 至平成20年5月31日	自平成20年12月1日 至平成21年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 909	△ 288
投資活動によるキャッシュ・フロー	220	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 189	△ 10
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 30	△ 83
現金及び現金同等物の増減額	△ 908	△ 381
現金及び現金同等物の期首残高	7,896	6,166
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	6,988	5,784

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、当中間連結財務諸表と前年中間・期末における連結財務諸表とでは、作成基準が異なるため前年比較に関する情報は参考として記載しております。



# 株式の状況 & 会社概要

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

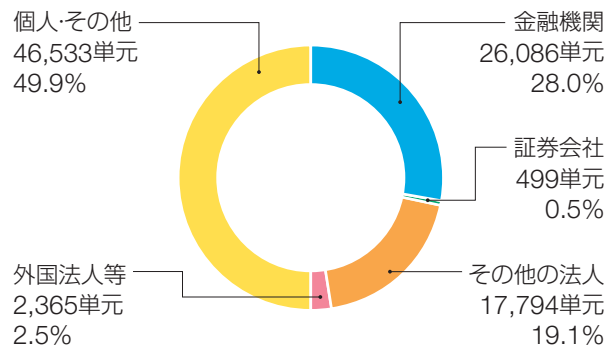
## 株式の状況 (平成21年5月31日現在)

- 発行可能株式総数 33,600,000株
- 発行済株式の総数 9,327,700株
- 株主数 4,935名
- 単元株式数 100株

## 大株主の状況 (平成21年5月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	出資比率 (%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.4
株式会社不二越	576,000	6.2
富士火災海上保険株式会社	548,000	5.9
株式会社りそな銀行	396,000	4.2
マルカキカイ従業員持株会	386,833	4.1
株式会社みずほ銀行	372,000	4.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	288,000	3.1
竹田和平	262,600	2.8
乾孝義	260,200	2.8
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	238,100	2.6

## 所有者別株式分布状況 (平成21年5月31日現在)



## 会社概要 (平成21年5月31日現在)

- 商号 マルカキカイ株式会社  
MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
- 設立 昭和21年12月16日 (1946年)
- 本社所在地 〒567-8520  
大阪府茨木市五日市緑町2番28号  
TEL.072-625-6551  
FAX.072-625-6558  
インターネットホームページ  
<http://www.maruka.co.jp/>
- 主な事業内容 機械専門商社として産業機械、建設機械の国内販売および輸出入
- 資本金 14億1,441万円
- 従業員数 連結 396名、単独 170名

## 役員 (平成21年5月31日現在)

- ※取締役会長 乾 孝 義
- ※取締役社長 釜 江 信 次
- 取締役兼常務執行役員 竹 下 敏 章
- 取締役兼常務執行役員 森 康 明
- 取締役兼執行役員 佐々木 政 貴
- 取締役兼執行役員 真 鍋 聡
- 取締役兼執行役員 諸 富 秀 一
- 取締役 湯 村 幸 次
- 常勤監査役 記 録 勇 次
- 常勤監査役 塚 原 実 安
- 監査役 柴 功 安
- 監査役 崎 原 嘉 行
- 執行役員 台 本 広 志
- 執行役員 難 波 経 久
- 執行役員 吉 儀 裕 之

上記※印は、代表取締役であります。

## 株主メモ

---

- 事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
  - 期末配当受領株主確定日 11月30日
  - 中間配当受領株主確定日 5月31日
  - 定時株主総会 2月
  - 基準日 定時株主総会については 11月30日  
(その他必要あるときは予め公告する一定の日。)
  - 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
(兼 特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社
  - 株主名簿管理人事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
(兼 特別口座の口座管理機関連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
  - 各種お問合せ 電話 ☎ 0120-094-777  
※証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。  
※特別口座に記録された株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。  
手続用紙請求電話 ☎ 0120-244-479  
(本店証券代行部)  
☎ 0120-684-479  
(大阪証券代行部)  
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
  - 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)  
<http://www.maruka.co.jp/>  
なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
  - 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部
- 



**マルカキカイ 株式会社**

<http://www.maruka.co.jp/>